

# 取扱説明書

**DAYTONA**

S23094①/④

\*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*本商品もしくは本商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

LOW スタイルハンドル	適応車種	商品NO.
	GB350 (21) GB350S (21)	23094

## ■ ご使用前に必ずご確認ください ■

- ※ 本商品の使用をもって、本書と保証書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。内容をご理解のうえ、本書とレシートと一緒に保管してください。ご購入履歴が不明な場合は当社所定の保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	<b>警告</b> 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
	<b>注意</b> 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
---	-------------------------	---	---------------------	---	---------------------

### 警告

- 
  - 本商品は車種専用部品です。記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
  - 本商品に曲げ・切削・溶接などの加工は行なわないでください。商品の破損だけでなく、車両側の破損や重大な事故につながる恐れがあります。
- 
  - 本商品を取り付ける際に使用する純正部品および車両の各部に欠損・損傷がみられた場合は、その部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。
  - 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、不具合が発生する場合があります。
  - 本商品の取り付け後は、車両に接触したり、スロットルの戻り具合、ブレーキ性能など運転操作時に支障がないか、必ず確認してください。またハンドリングが変化するため、操作になれるまでは、十分に慣らし運転を行なってください。
  - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

### 注意

- 
  - パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際や洗車を行なう際は必ず保護手袋などを使用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。またエッジや突起部がある場合は、ヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。
  - 本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。未使用品以外での外観不良は保証対象外となります。
  - 本商品を取り付けする前に、本書とメーカー発行のサービスマニュアルをよく読み、理解したうえで作業を行なってください。
  - 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させた上で行なってください。
  - ボルト、ナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、必ずそれぞれのサイズに合った所定の締付トルク、または本書に記載されたトルクで締め付けを行ない、確実に取り付けしてください。また記載がない箇所については、メーカー発行のサービスマニュアルを参考に取り付けを行なってください。
  - 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。
- 
  - 本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。
  - 本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。製造上、裏面や取り付け部周辺には表面仕上げにムラが生じてしまいます。塗装やキズ、歪みなど程度の差はございますが、仕上り品質は、お手元の商品程度となります。
  - 本商品はスチール製塗装商品になります。ご使用環境や経年変化、使用損耗、メンテナンス状況により素材劣化（サビ含む）が早期から進行する場合がございます。またキズやサビなどが発生している場合は、適切な補修を行なってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。これらの要因により発生した素材劣化や不具合、事故損害につきましては、当社では一切の責任を負いかねます。
  - 本商品は純正状態をベースに設計しております。純正以外の部品に交換されている場合に装着できない場合がございます。
  - 転倒履歴がある車両には取り付けできない場合がございます。
  - 本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。
  - 本商品の表面処理は塗装仕上げになります。ブレーキマスターやクラッチホルダー、ハンドルクランプなどを取り付ける際は商品自体にキズが付く可能性があるため、十分注意して作業を行なってください。
  - 本商品の取り付け時に外した純正部品は紛失しないように十分にご注意してください。
  - 純正のパーエンド以外を装着する場合は、車両の全幅寸法の記載変更が必要になる場合があります。
  - 本商品は予告無しに価格や仕様の変更をする場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

## 本商品の特長

- 純正ハンドルよりグリップ位置を 15mm低く、手前内側にしぼることで程よい前傾姿勢が生まれるスポーティなハンドル。

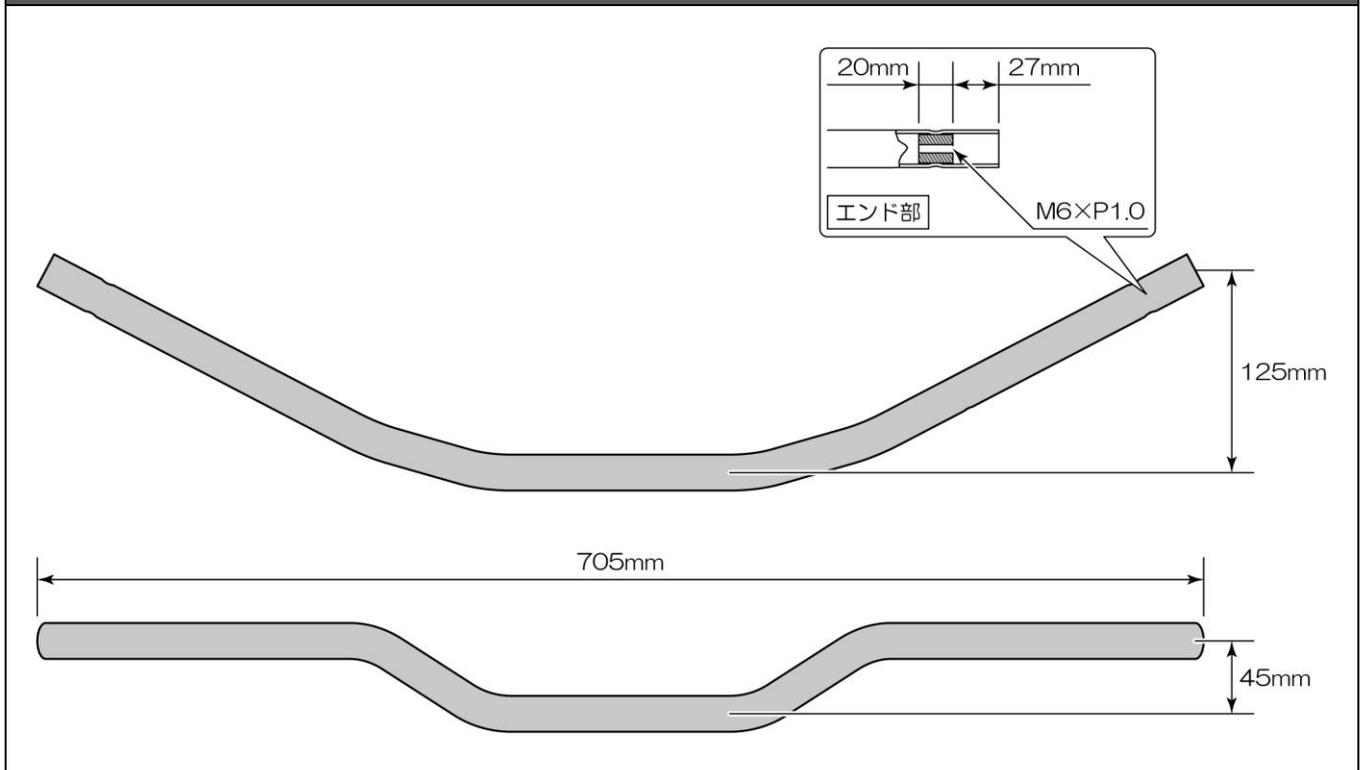
※GB350S は、5mm 低くなります。

- エンド部には 6mm のネジ穴が加工済みで、純正バーエンドや M6 サイズのバーエンドミラーアダプターが装着可能。
- スチール製のマットブラック塗装仕上げ。

## 商品内容

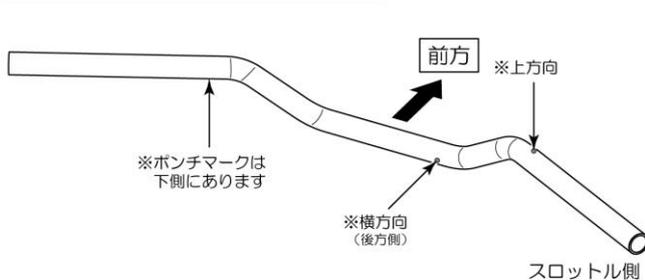
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	備考
①	ハンドル		1	全長 705mm×高さ 45mm×奥行 125mm

## ハンドル寸法図

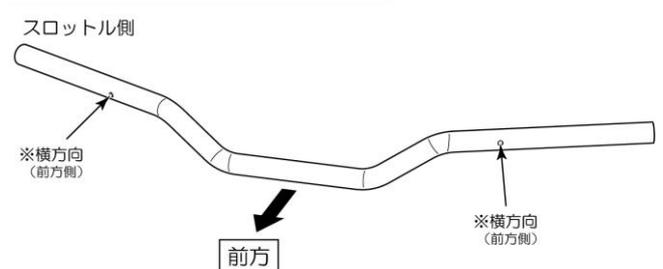


## ハンドルの取付位置を決めるポンチマークとガイドホール場所

### ◇ポンチマークの位置 (3ヶ所)



### ◇ガイドホールの位置 (2ヶ所)



## 取付方法

### 【作業前の注意事項】

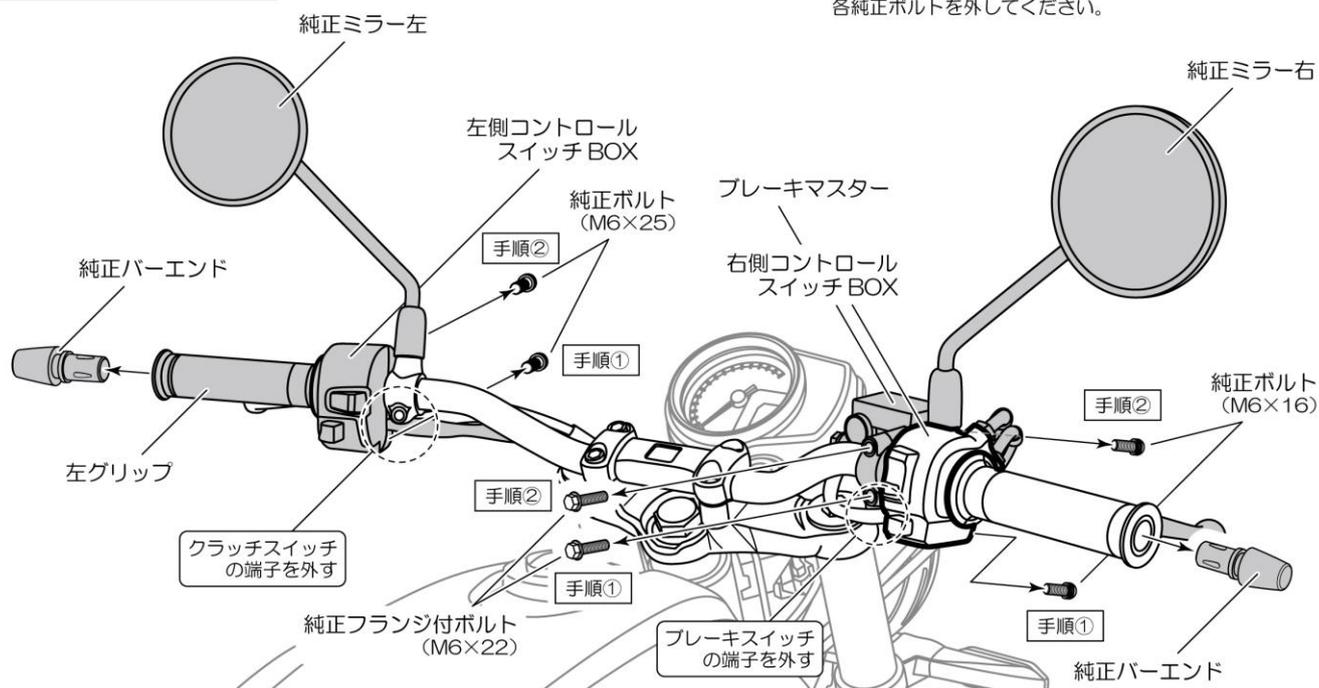
- 本書はGB350（21）の車両をベースにご説明しております。車両年式の違いにより、異なる取り付け方法になる場合がございます。
- 純正部品の取り外し、取り付けについては各メーカー発行のサービスマニュアルを参照して正しく行なってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を固定させて、転倒や怪我などに十分注意して作業を行なってください。

### O1. 純正ハンドルの取り外し

- 以下文章中の「太文字で記載のボルト類」は取り外し手順に注意して外してください。
- 純正バーエンドを引き抜き、左右の純正ミラーを取り外します。
- ブレーキスイッチの端子を抜き、**純正フランジ付ボルト（M6×22/2本）**を外し、ブレーキマスターを取り外します。
- 右側コントロールスイッチBOXを固定している**純正ボルト（M6×16/2本）**を外します。
- **純正ボルト（M6×25/2本）**を外し、左側コントロールスイッチBOXを取り外します。
- 左側グリップを取り外します。
- クラッチスイッチの端子を抜き、クラッチホルダーを固定している純正フランジ付ボルト（M6×25/1本）を緩めます。
- 右クランクケースカバー側に付いているクラッチケーブルレシーバーを外し、クラッチホルダーからクラッチケーブルを取り外します。
- ボルトカバー（4個）と**純正キャップボルト（M8×32/4本）**を外し、ハンドルクランプアッパーホルダーを外します。
- 純正ハンドルから右側コントロールスイッチBOXとスロットルを取り外します。

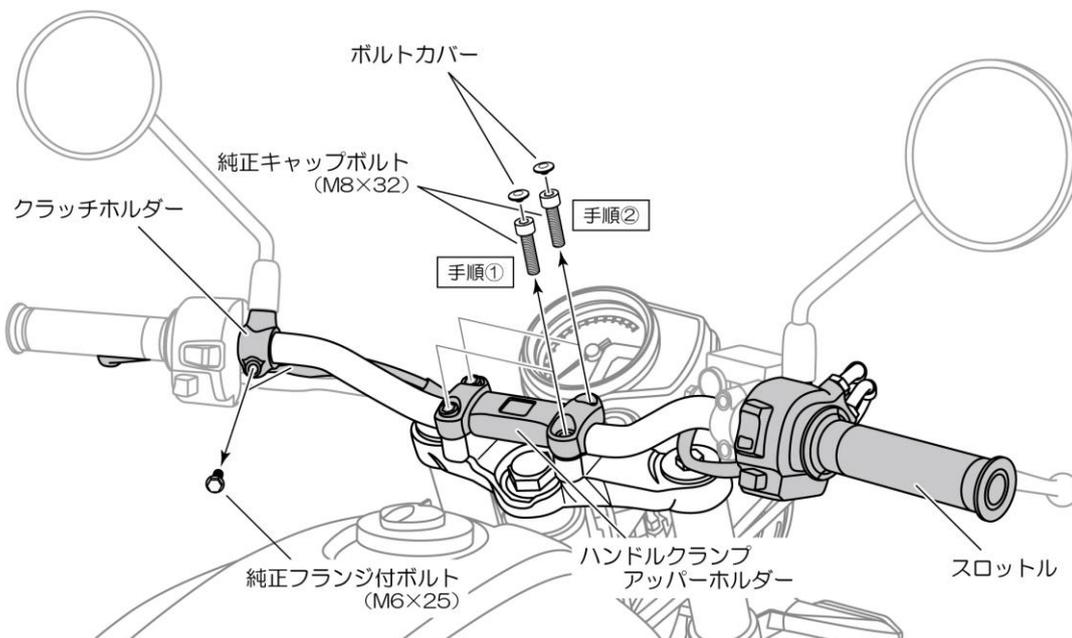
#### ハンドルの取り外し その1

※イラスト内に記載された「手順①⇒②」に注意し、順番に各純正ボルトを外してください。



#### ハンドルの取り外し その2

※イラスト内に記載された「手順①⇒②」に注意し、順番に各純正ボルトを外してください。



## 02. ハンドルの取付位置のガイドマークを確認

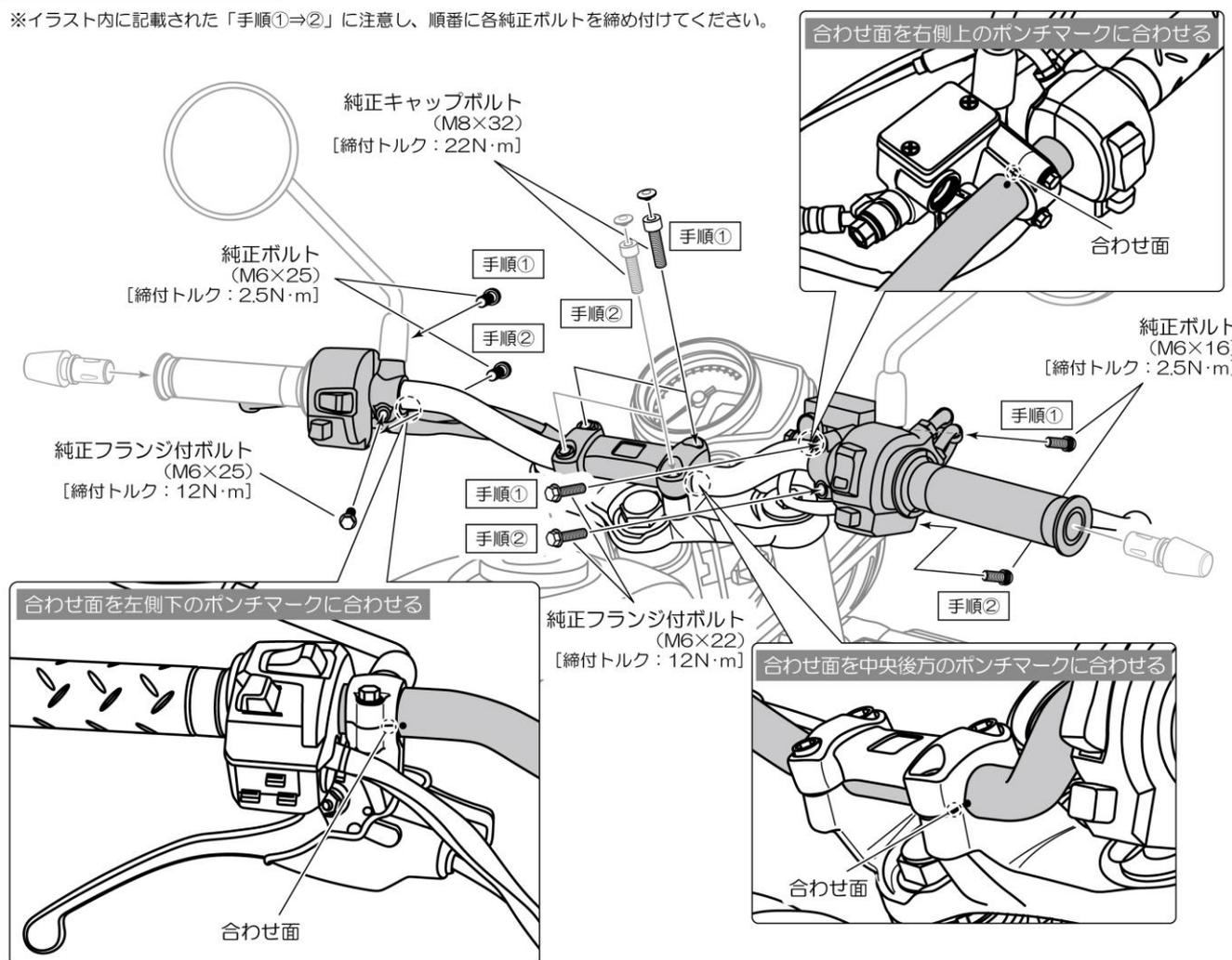
- ①ハンドルの各部には、取り付け時の位置決めをするためのガイドホールとポンチマークがあります。商品内容に記載のイラスト (P.02) を参考に確認ください。

## 03. ハンドルの取り付け

- 以下文章中の「太文字で記載のボルト類」は取り付け手順に注意して締め付けてください。
- ①ハンドル右側のガイドホールに合わせて、右側コントロールスイッチ BOX とスロットルを取り付け、**純正ボルト (M6×16/2本)** を使用し、所定トルクで締め付けます。
- ①ハンドルにクラッチホルダーを動かせる状態で仮組みします。
- クラッチケーブルレシーバーを元の位置に取り付け、クラッチケーブルをクラッチホルダーに取り付けます。
- ①ハンドルをハンドルクランプアッパーホルダーと**純正キャップボルト (M8×32/4本)** を使用し、中央ポンチマークの目印に合わせて、所定トルクで車両に締め付けます。
- クラッチホルダーを①ハンドルの左側ポンチマークに合わせ、**純正フランジ付ボルト (M6×25/1本)** を使用し、所定トルクで締め付けます。
- ブレーキマスターを①ハンドルの右側ポンチマークに合わせ、**純正フランジ付ボルト (M6×22/2本)** を使用し、所定トルクで締め付けます。
- ①ハンドル左側のガイドホールに合わせて、左側コントロールスイッチ BOX を取り付け、**純正ボルト (M6×25/2本)** を使用し、所定トルクで締め付けます。
- ①ハンドルの左グリップ取付位置にグリップボンドを塗布し、左グリップを取り付けます。
- 純正パーエンドを左右に差し込み、ブレーキスイッチとクラッチスイッチに、手順 01 で外した端子を接続します。
- 純正のサービスマニュアルを参照し、クラッチケーブルとスロットルケーブルを調整します。

### ハンドルの取り付けと注意点

※イラスト内に記載された「手順①⇒②」に注意し、順番に各純正ボルトを締め付けてください。



## 04. 点検作業

- ギアポジションをニュートラルにし、エンジンを始動してアイドル状態にします。この状態でハンドルを左右にきって、接触する部分やアイドル回転数が変化しないか、ケーブル類やスロットルなどの操作に影響が出ないか各部を点検してください。またクラッチの動作が適正か確認してください。異常が無ければ車両の固定を解除し作業は終了です。

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

転載  
禁止

本取扱説明書の内容の一部、  
または全ての無断転載を禁止